



本書は、もともと、PSI（個別化教授システム）によって、プログラミング教育を行うための教材として制作したものです。PSI とは一斉授業のように教師が教えるのではなく、学習者の独習を中心にして、それぞれに最適な学習速度で学ぶことができる方法論です。

独習が基本なので、PSI の教材は「読むと必ずわかる」ことが必須条件です。難しいことを、必ずわかるように平易に解説するのが、PSI 教材の使命だからです。本書の「わかりやすい Java」というネーミングには、そのような意味が込められています。

本書の目的

本書は、これから Java プログラマを目指そうとする人のための教科書です。独習書として使えるように、わかりやすい解説、豊富な図版、そして十分な練習問題を用意しました。

また、学習の目標となるように、Java プログラマーの認定資格である OCJP（Oracle Certified Java Programmer）Bronze 試験に完全対応しています。OCJP 試験の内容は、Java 学習の標準とされているので、大学、専門学校等での教科書としても最適です。

最新の言語仕様に準拠

Java 言語は 2014 年の Java8 以来、大きく変貌しました。そこで、この第 2 版では、JShell、新しい switch 構文と switch 式、ラムダ式、ストリーム処理、NIO2 の利用、インタフェースの拡張など、最新の言語機能についても平易に解説しています。古い Java から新しい Java へ、学びをリフレッシュしたい人達にも、最適の内容です。

Windows と MacOS に対応

この第 2 版では、Windows と MacOS に対応するよう内容を改訂しました。サポートウェブ (<https://k-webs.jp>) で、それぞれの OS 用の統合開発環境 Eclipse を、学習教材としてダウンロードできます。

本書による学習の進め方

プログラムを作成し、実行できるよう、最初に、サポートウェブにアクセスして、Eclipse をダウンロードしてください。面倒なインストール作業は不要で、解凍するだけで使えるようになっています。Eclipse には本書のすべての例題を組み込んでいるので、起動したらすぐに、実行して結果を見ることができます。Eclipse があれば、練習問題の作成も簡単です。

本書は、解説と練習問題で 1 つの単元になっています。単元は、取り組みやすいように、わずか数ページです。短い解説をよみ、付属する練習問題を解くのが、基本的な学習の進め方です。

練習問題は、例題の内容を確認し、知識として定着するためのものです。確実に解答することで、大きな学習効果が得られます。練習問題の解答はサポートウェブで見ることができます。

単元をクリアしていくと、章の最後には「通過テスト」があります。「通過テスト」とは、この章を「通過」できるかどうかのチェックテストという意味です。80%以上の正答率が期待されます。80%以上正答できなければ、次の章には進まず、間違った理由を調べて知識を再点検しましょう。